

学校評価の改善について

滋賀県立湖南農業高等学校

① 学校評価のこれまでの取組状況等について

本校では、10月に教職員に対して学校評価に係るアンケート調査を実施し、その結果に基づく評価を公表している。

また、1月には保護者、2月には生徒および再度教職員に対して学校評価に係るアンケート調査を実施し、学校関係者評価として本校の学校運営協議会委員にすべての結果を示し、最終評価をしていただいている。

② すでに講じた改善策について

項目により保護者評価、生徒評価においてBやCの評価も見受けられる。学校関係者評価の席では、「このことは真摯に受け止め、次年度以降の学校改善に努めることが、地域に根ざした開かれた学校づくりにつながる」と意見をいただいている。

「6.学校図書館」の評価は総合評価では昨年同様「B」であったが、保護者評価、生徒評価においては「C」が見受けられる。昨年度から取り組んでいる「読書マラソン」やしがはいすくーる おすすめ本50選」に参加など継続的に実践すること、また、引き続き、図書館を使った指導案の提案、蔵書検索サイトの紹介、生徒図書委員が作成したポップの展示等、図書館の利用促進を促すべく司書を中心に改善していくことを確認した。

「3.生徒指導」のいじめに関する項目について、生徒評価で「C」となった。今年度は校内においていじめ事案や暴力行為などが多く発生し、不安を感じる生徒が増えたことによると思われる。この結果を踏まえ、「安全で楽しい学校づくり」について意識的に各部署で具体的方策を出すよう取り組んでいくよう確認した。

③ 今後の方向性等について

「6.学校図書館」については、引き続き、図書館の様々な取り組みが生徒や保護者に伝わるように通信を個人配付し、保護者への図書館活用状況の見える化に努める。学校全体で取り組んでいる朝読書週間の定期的な実施を継続し、さらに充実させていくこと、授業での積極的な図書館活用をさらに推進していくことはもちろん、授業での利用を通じて情報リテラシーを身に着けられるようなマニュアルの作成、授業での活用提案を進めていく。

「3.生徒指導」についても校則の改訂や指導方法の改善等が急務な課題となっている。今年度は総合評価で「C」は無かったが、学習指導や生徒指導において、生徒の教育活動に対する充実感や達成感が、生徒自身に充分感じられていない傾向が出ている。今後は、生徒自身が成長を感じ取れるよう、より丁寧な教育実践を目指して、教職員一丸となって特色ある学校づくりに努めていく。